



今月の話題

- 新年ご挨拶
- 2ヶ月間のグローバル地震観測コースに8ヶ国11人が参加
- JICA 中南米防災人材育成拠点化支援(テリ)
- 2016年IISEE研修スケジュール

研修 データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

新年のご挨拶

国際地震工学センター長 横井 俊明

読者の皆様、そしてご家族、同僚の皆様、明けましておめでとうございます。皆様が本ニュースレターを読まれるのは2016年2月頃となると思いますが、本年も良い年でありますように、また、IISEEの研修が2016年も更に良いものとなりますように祈念いたします。



横井センター長と地震学コース、津波コースの研修生

2015年は、ネパールでマグニチュード7.8の深刻な地震災害が発生しました。アフガニスタン、マレーシアなどでも地震が発生し、被害がありました。チリ北部は、マグニチュード8.3の地震による津波に襲われ、パプアニューギニア、タジキスタン、バヌアツ、ソロモン諸島、インドネシアでは、マグニチュード7を越える地震が発生しました。被災された方々に心より御見舞い申し上げます。これらの災害は、発展途上国の地震災害を軽減し地震多発国の人々の安全・安心に研修事業を通じて貢献するというIISEEの使命を再確認させるものです。

2015年は、IISEEにとって特別な年でした。1月から3月にかけて実施されたグローバル地震観測研修コースが20周年を迎えました。また、IISEEのスタッフ全員と通年コースの研修生全員が仙台で開催された第3回国連防災世界会議に出席しました。そして、記念すべき第100カ国目の研修生が5月から7月に開催された中南米研修コースに参加しました。2016年始めの時点で、100カ国1,703名の研修生を迎えたこととなります。

IISEEとニュースレターの読者の皆様、帰国研修生及び地震学・地震工学分野で働く方々との情報交換を容易にする為に、新しいIISEEの活動を準備しています。ニュースレターで配信される情報に注目してください。

最後になりますが、皆様のIISEEへのご厚意とご親切に対し、改めて一言感謝の意をつけ加えさせていただきます。

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



2ヶ月間のグローバル地震観測コースに8ヶ国11人が参加

国際地震工学センター管理室長 山下 崇



坂本理事長

1月19日(火)11:30-12:00にグローバル地震観測コースの開講式が、JICA筑波国際センターで開催されました。中国、エジプト(2人)、イラン(2人)、ミャンマー、ネパール、パキスタン(2人)、ソロモン諸島、スリランカから、11名の研修生が式典に参加しました。

式典には、外務省軍縮不拡散・科学部軍備管理軍縮課 村上顕樹課長が来賓として出席されました。

グローバル地震観測研修コースは、地震学の知識を使って核実験探知に必要な技術を獲得した人材を育成するという特別な目的をもった研修です。

同コースは、CTBTO、外務省、JICA、気象庁、その他関係機関の皆様の御支援・ご協力を得て実施されます。

式典では、来賓挨拶のあと、建築研究所 坂本雄三理事長、そしてJICA筑波国際センター 芳賀克彦所長が歓迎の挨拶を行いました。

最後に研修生を代表してパキスタンのイクバル ムハマド タヒル氏から挨拶がありました。短い研修期間ですが、研修生がIISEEの研修に積極的に取り組み、良い思い出をもって帰国することを期待しています。日本は冬真っ盛りで寒いですが、IISEEは暖かくお迎えいたします。



開講式

JICA 中南米防災人材育成拠点化支援(チリ)

国際地震工学センター 上席研究員 小豆畑 達哉



公共事業省研修棟での講義の様子

2015年4月より、国際協力事業団(JICA)とチリ国際協力庁(AGSI)との協議結果に基づき、「中南米及びカリブ海諸国防災人材育成拠点化支援プロジェクト」が開始されています。建築研究所では、本プロジェクトのうちの2つの研修コース(「応急危険度判定」と「耐震工学」)に、国土技術政策総合研究所とともに、協力しています。

「応急危険度判定」の研修は、チリ公共事業省の主催により、昨年、10月19日から約3週間をかけて実施されました。研修参加者は11か国20名でした。本研修のため、建築研究所国際地震工学センターから小豆畑上席研究員が、国土技術政策総合研究所から福山住宅研究部長が派遣されています。両名は、それぞれ、3日間の講義課題を受け持ち、講義を行いました。また、派遣期間中に、両名は、来年度から実施予定のもう一つの研修「耐震工学」について、実施機関であるチリカトリカ大学と講義内容について打合せを行い、講義項目を決定しました。

本研修プロジェクトは2019年まで実施され、建築研究所では、それまで毎年、講師を派遣する予定です。



楽しむのは今です。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国での活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお願いします。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

2016年 IISEE 研修スケジュール

★地震学コース、地震工学コース、津波防災コース

1月4日(月)	授業再開
2月16日(火)	国際親善パーティ/ジェネラルミーティング
*4月18日(月)-4月22日(金)	関西方面研修旅行
5月31日(火)	ジェネラルミーティング
6月1日(水)-9月2日(金)	個人研修
7月15日(金), 19日(火)	中間発表会
8月22日(月)-23日(火)	最終発表会/ジェネラルミーティング
*8月-9月	国土交通大臣表敬(1日)
9月13日(火)	IISEE 閉講式
9月14日(水)	GRIPS 卒業式

★グローバル地震観測コース

1月19日(火)	開講式
2月3日(水)-6日(土)	関西方面研修旅行
2月16日(火)	国際親善パーティ
3月11日(金)	閉講式

*予定